

ののさまですね

■ 楽曲データ

歌詞：勝島俊子 作詞

楽曲：井上一朗 作曲

発表：浄土真宗本願寺派仏教音楽研究所 1987年

初演：—

初出：『佛教音楽』第16号 仏教音楽研究所 1988年

管理番号：M1449

■ 創作の経緯

仏教音楽研究所の第6回創作募集活動において発表された。保育連盟、少年連盟などの要請を受けて募集された「こどもの仏教讃歌」入選4作のひとつ。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻、『聖歌・讃歌集 こども編』第1巻収録

底資料：『仏教讃歌集 こどものうた』 本願寺出版社 1976年

比較資料1：『幼児向け仏教讃歌 ほとけのこどものうた』 本願寺出版社 1996年

比較資料2：『佛教音楽』第16号 仏教音楽研究所 1988年

校訂の詳細：特になし

■ 解説

◆ 歌詞について

作詞者・勝島俊子さんは、当時宗門関係の保育園で保育士をつとめていました。すべてを包み込むような大きくやさしい四季の自然に対し、「ここにもみ仏さまがいて下さる」「私を、子どもたちを、みていて下さる」、そのように感じたと言っています（『佛教音楽』第14号、仏教音楽研究所発行、1978年）。

季節は移り変わり、人は成長し年を取っていく——美しい景色も、楽しい時も、そのままに留めておくことはできません。ですが、遠い昔から変わることなく、この世のすべてを見守ってくださる仏さまがいらっしゃいます。子どもたちが変化に戸惑い、不安になった時、その存在はどんなにか支えになるでしょう。この歌を通して、これからを生きる子どもたちへ、「どんな時も、ののさまはそばにいてくださるよ」と、エールを伝えていただきたいと思います。

◆作曲者について

作曲者の井上一朗さんは、本願寺派の僧侶で、親鸞さまのご和讃を歌詞とする仏教讃歌《弥陀大悲の誓願を》などを作曲。その作品は多くの人に親しまれています。

◆演奏のヒント

明るく弾むような曲調です。歌のメロディは、音の動きが細かいですが、あまり音程にこだわりすぎず、2小節ごとのフレーズ感を大事に歌ってみてください。

曲中に何度も出てくる「ののさまですか」は、曲の最後で「ののさまですね」へと変わります。自然のなかにふと仏さまの存在を感じ、やがて確かな実感をもつ。そんな歌詞の流れを捉え、語尾まではっきりと、元気に歌い終えましょう。

◆楽譜・音源について

音源は、CD『ののさまといっしょ ほとけのこどものうた』に収録されています。

解説執筆：田村菜々子（浄土真宗本願寺派総合研究所研究助手）

※本解説は、「仏教讃歌」No. 87（保育連盟機関誌『月刊保育資料 まことの保育』第691号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.